

北海道から見た北極域と北方圏における日露地域間協力

JAPAN-RUSSIA INTERREGIONAL COOPERATION IN THE ARCTIC AND NORTH – THEORY AND PRACTICE

北海道国際交流・協力総合センター(HIECC)研究員

高田 喜博(TAKADA Yoshihiro) takada@hiecc.or.jp

2021年3月3日 オンライン

北海道的位置と北海道開発



- 北海道は日本列島の最北端に位置し、ロシアに隣接している。
- 1870年代になって、北海道の本格的な開発が始まり、近年まで、北海道は、石炭と農林水産資源を本州に供給するため、中央政府主導で開発が行われてきた。
- そのため、開発のスピードは速かったが、経済・精神的な中央依存体質を指摘されている。

北方圏構想

- 札幌冬季オリンピック(1972年)の開催決定の頃から、北海道では中央依存体質から脱却して自立的発展を目指すという機運が高まり、「北方圏構想」が生まれた。
- これは「北海道と気候風土が類似する北方圏、すなわち、ロシア(特に極東ロシアやシベリア)、そして、北欧や北米、中国北東部などにおいて、生活、文化、学術、経済などの各分野での交流を推進し、その成果を基礎にして地域の自立的発展を目指す」という地域間協力促進のための国際戦略であった。

低迷する日ロ経済交流

- この北方圏構想の下、多くの地域間協力の枠組みが形成され、さまざまな取り組みがなされた。
- 文化やスポーツの分野での交流は促進されたものの、経済交流はなかなか進展しなかった。
- 例えば、ソ連解体直後の1991年に、北海道とロシア極東三地域の経済協力に関する常設合同委員会が設置され、現在まで、さまざまな取り組みがなされたが、経済交流の大きな成果は生まれなかった。

北方圏構想の再構築

- 経済交流の大きな流れを作ることができなかった最大の原因は、市場規模が小さくて物流も未発達だった「北方」に対して、中国の沿岸部、東南アジアなど「南方」の経済発展があまりにも目覚ましく、北海道内の企業の目が「南方」に向いてしまったことだ。
- しかし、北海道の地理的位置や気候風土を生かすためには、やはり「南方」ではなく「北方」との関係を重視すべきだと考えられ、「北方圏構想」が改めて見直されようとしている。

北海道における優位性のある技術

- 北海道には、北方の気候風土で培われてきた、寒冷地技術、北方型の農水産業や観光業などがあり、これを基礎にした、北方圏との地域間経済交流を推進すべきである。また、北海道には「北方圏構想」で蓄積された経験と成果があり、北方圏交流では日本のトップランナーだ。
- ただし、北海道の対ロシアビジネスは発展段階にあり、コロナ・パンデミックの影響もあって、現在は停滞しているが、今後の発展に期待することができる。

北海道における研究機関の集積

- 北海道には国際的な研究拠点として国内外に認められた、スラブ・ユーラシア研究センターや北極域研究センターなどの研究機関の集積があり、これは北海道が地域間協力の中心の一つとなる可能性を示している。
- これらが、強力な磁石のように、世界中から研究者や情報や共同研究プロジェクトを北海道に引きつけ、優秀な人材を育成し、新しい発見や技術が生まれることを期待することができる。

北海道における北極海航路への期待

- 北極海航路を抜けて南下した時、その航路上に北海道があり、そこには近代的な設備を有する不凍港やLNGの輸入基地がある。
- 北米航路が、北海道の南の津軽海峡を通過しており、北海道は北極海航路と北米航路の接点に位置する。
- こうした条件を有する北海道の港湾が、緊急時の避難、補給や整備、中継点として利用されることに期待している。
- これは国レベルの事業であり、北海道としては国や研究機関と協力して、その実現のための準備をしている。

北方領土における「共同経済活動」

- 2016年12月の首脳会談で、北方領土における「共同経済活動」の協議開始が合意され、その実現が期待されたが、主権に関する主張が対立して、なかなか進展しなかった。
- 2019年8月にゴミ処理場の建設、11月にはパイロットツアーが実施されたが、2020年はコロナ・パンデミックがあって事業は中断し、再開の目途が立っていない。
- 大胆な発想で北方領土問題を日口の対立ではなく、地域間協力のシンボルにすることができない

今後の日口の地域間交流への期待

- 北極域の気候変動と生態系への影響は、北方少数民族の生活にも影響を及ぼす。
- 北極域の安全保障環境の変化は、ローカルな問題ではないが北方領土問題に影響を及ぼす。
- 北極海航路および北極域における資源開発では、ヤマル半島だけでなく、北海道と包括的協力関係の覚書を交わしたサハ共和国の開発にも期待。
- 北海道にとっても日口の地域間交流はより重要となる。